県内総合

建設情報 Iwate

ニュースのお知らせは
〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33
本社編集部へ
TEL (019) 623-8201
FAX (019) 623-8204

社福法人 たんぽぽ会

近接地に移転新築を計画
たんぽぽこども園 施工は佐々木組の担当

社会福祉法人たんぽぽ会（一関市、千葉厚子理事長）は、一関市赤荻字下谷地の幼保連携型認定こども園たんぽぽこども園の移転新築を計画し、佐々木組の施工、新中央設計東京の設計・監理で建設を進めている。現在の施設が手狭となったことなどから、現在の施設の近隣に新たな園舎の建設を計画したもので、来年４月の供用を予定している。

建築が進む新園舎は、現在の園舎の近隣に敷地として3155.00平方㍍を確保して建築するもので、規模が木造平屋の床面積697.92平方㍍の施設となる。保育室９室やホール、事務室、休憩室、調理室、シャワー室、多目的室・相談室などを設ける予定でいる。

同園の現施設は、保育園だったころに建設したもの。定員を45人から60人に増員した際には、建物の増築工事を実施した。その後、こども園化に伴い、さらに15人定員を増やし、現在の定員が75人。０歳児から就学前の児童を受け入れている。

現在の施設は、築20年ほどと老朽化はしていないものの、こども園化に伴い、保育室をさらに１室増やす必要が生じている状況にある。現施設の敷地は、借地のため増築できないことから、移転して新施設を整備することで計画した。

新施設は現在の場所に近接する場所が建設地で、現在は同園の園庭として利用している。園庭として利用している隣接箇所を新たに取得して、建物を建設する。

新施設の特徴を見ると、太陽や水、土といった自然に親しむこと、歌やリズムで身体づくりをしていくといった同園の方針を踏まえ、広めに空間を確保する。子どもたちが身体を思う存分動かせるようにホールを広めにし、ホールにステージを設けないことでより広く使えるよう配慮。各保育室から園庭に出やすいようにする措置なども施す。

新施設については来年４月からの供用を予定している。新施設を供用した後、現施設は譲渡したいとしている。

建設が進むたんぽぽこども園の新園舎

大只越復興住宅１号棟の耐浪診断を実施
＝県復興防災部＝

県復興防災部では、釜石市大只越町の大只越復興住宅１号棟について、津波避難ビルになり得るかを判断材料とするため、耐浪診断を実施する考えだ。現在、関連業務が条件付一般競争で公告中で、申請書等の提出は15日まで、25日の入札・開札を予定している。（関連７面）

大只越復興住宅１号棟は、鉄骨造の地上５階建てで、延べ床面積が1052.58平方㍍の規模となっている。施設は、2016年に建築されたものとなる。

県では、沿岸地域の主だった施設について、津波避難ビルになり得るか調査の一環として、耐浪診断を推進している。結果などを基に、施設の立地する市町村が、津波避難ビルに指定するかを判断する。

今回の業務では、調査対象施設が、津波防災地域づくりに関する法律施行規則第31条第１号の規定に基づく耐浪性を有しているか否かを判断するため、耐浪診断を実施する。診断結果などを参考にしながら、釜石市が津波避難ビルに位置付けるかを判断する流れとなる。

業務内容に関しては、規定に基づき大臣が定めている津波避難ビル等の構造上の要件の解説「２章津波避難ビル等の設計例」を用いて、「業務対象施設」の構造計算を行う。委託期間は100日間となっている。

主な参加要件を見ると、県の建設関連業務競争入札参加資格者名簿の建築関係コンサルタント業務に登録され、構造および調査一般を申請業務としている者。このほか、岩手県内に本店または営業所を有することなども要件として付している。

土砂災害警戒区域の標識設置業務を公告
＝二戸土木センター＝

県北広域振興局土木部二戸土木センターは、管内の土砂災害警戒区域に標識設置を進める計画でいる。12日付で、標識設置業務が条件付一般競争で公告となった。案件の参加申請は19日まで、12月２日の入札、開札を予定している。（関連７面）

業務では、二戸土木センター管内における土砂災害警戒区域において注意喚起を促す、土砂災害警戒区域標識の設置を行う。設置する標識は、コンクリート支柱タイプ、壁面設置タイプ、フェンス設置タイプで、いずれも高さ600㍉、幅400㍉のアルミ板の規格となっている。

設置を予定している箇所では、現地調査のほか、板面の内容や設置方法、設置箇所等の調査を行うこととしている。具体的には、対象となる土砂災害警戒区域の確認や、詳細な設置場所の選定など、土砂災害警戒区域標識の製作・設置に必要な現地調査を行う。現地調査の結果については、とりまとめて土砂災害警戒区域標識の板面のレイアウト図を作成。土砂災害警戒区域標識の設置後には、設置箇所の情報をまとめた管理台帳を作成する。

調査、設置を予定している箇所は13カ所となる。詳しく見ていくと、軽米町が７カ所を計画しており、上舘農業構造改善センターや牛ケ沢集落センター、ミレットパーク、農業構造改善センター、地域活動支援センターふれあい、県立軽米高校、増子内農村振興会館に設置。いずれの箇所も、コンクリート支柱タイプのものを設置する見通しでいる。

九戸村では、江刺家支所と平内公民館を見込んでいる。江刺家支所にフェンス設置タイプ、平内公民館にはコンクリート支柱タイプを設置する。

一戸町については、野田集会所、月舘自治公民館、樋ノ口公民館、下町公民館の４カ所となる。野田集会所が壁面設置タイプ、月舘自治公民館と樋ノ口公民館にはコンクリート支柱タイプ、下町公民館にフェンス設置タイプのものを設ける。

なお、箇所・設置内容などについては、現地調査の結果により変更となる場合があるとしている。委託期間は、2025年３月19日までを設定している。

森本組が６億4000万円で落札
東北防衛局 山田局舎新設の土木工事

東北防衛局は、山田(6)局舎新設等土木工事について一般競争で入札した結果、森本組の施工担当に決まった。落札金額は６億4000万円、施工は局舎地区での新設に伴う各種土工、防災施設地区での各種土工を内容としている。（関連７面）

施工は山田町で実施するもので、工期が2029年３月15日まで。ただし、防災施設地区は2027年３月15日までの工期を設定している。

工事内容を見ると、局舎地区は局舎（ＲＣ－１約80平方㍍）新設に伴う建物附帯、切土工を約2000立方㍍（場外残土処分含む）、ジオセル擁壁工を約460平方㍍、重力式擁壁工が高さ約５㍍、延長約60㍍、吹付法枠工を約290平方㍍、仮設道路工が幅約５㍍、延長約230㍍（仮設モノレール設置・撤去含む）。

防災施設地区では、切土工を約800立方㍍（場外残土処分含む）、アスファルト舗装工を約1200平方㍍、雨水排水工を約490㍍、重力式擁壁工が高さ約２㍍、延長約20㍍、外柵新設工が（門扉含むもので、高さ1.8㍍、延長約50㍍、階段工が傾斜約40°で延長約100㍍（仮設モノレール設置・撤去含む一式）を内容としている。

入札には４社が参加し、うち２社が辞退。落札した森本組の加算点は30.000、施工体制評価点が30.000、標準点＋加算点＋施工体制評価点が160.000、評価値が25.000だった。

関連となる山田外(6)土木工事監理業務については、ティーネットジャパンが2952万円で落札。山田の土木工事のほか、（仮称）岩手(6)教場新設等建築その他工事（土木工事分）の工事監理業務を行う。

いわて防災学教室
災害から学び、災害に備える

線状降水帯とは？

岩手大学理工学部システム創成工学科教授　小笠原　敏記

ここ最近、「線状降水帯」という言葉を耳にすることが増えたと感じる人は多いのではと思われる。2024年８月27日に前線や暖かく湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、盛岡地域でも線状降水帯が発生した。そのため、盛岡市には、記録的短時間大雨情報が３回（19時17分、19時28分、20時27分）発表された。北上川水系の支川である中津川では、氾濫危険水位（2.7ｍ：山岸観測所）を超える水位を一時的に観測している。その結果、住家被害、道路損壊等の被害が上米内地区を中心に多数発生した。

筆者自身、海に囲まれていない盛岡市で線状降水帯が発生するとは思いもよらず、非常に驚きを受けた事象ではあったが、「はて？線状降水帯とはどの程度の雨を降らせるものなのか、そもそも定義があるものなのか」、不思議に思い気象庁のホームページで確認したところ、次のように説明されている。

「線状降水帯とは、次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなし数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、長さ50～300㎞程度、幅20～50㎞程度の線状に伸びる強い降水域」と述べられており、具体的な降雨量・降雨継続時間はこの文面にはなく、そのあとに、「線状降水帯」という用語は専門家の間でも様々な定義が使われていることから、気象庁が発表する「線状降水帯」というキーワードを使って解説する「顕著な大雨に関する気象情報」（令和３年６月から運用開始）は、現在、10分先、20分先、30分先のいずれかにおいて、次の基準をすべて満たす場合に発表される。

１．　前３時間積算降水量（5㎞メッシュ）が100㎜以上の分布域の面積が500㎢以上
２．　１．の形状が線状（長軸・短軸比2.5以上）
３．　１．の領域内の前３時間積算降水量最大値が150㎜以上
４．　１．の領域内の土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）において土砂災害警戒情報の基準を超過（かつ大雨特別警報の土壌雨量指数基準値への到達割合８割以上）または洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）において警報基準を大きく超過した基準を超過

と書かれているが、一般の住民がすぐに理解できる内容とはとても思えない。筆者なりに簡単に解釈すると、「強烈な雨を降らせる雲の集団（面積500㎢以上）が長く連なり、その雲の下では最低でも３時間の間、物凄い雨（150㎜以上）が降る、当然、土砂災害や洪水災害の危険性も高くなるよ」ということだろうか。いずれにせよ、直感でどの程度の雨が降るのかを理解することは難しく、もう少し具体的にイメージしやすい情報提供の工夫があっても良いのではと思われる。なお、現在の観測、予想技術では、いつどこで線状降水帯が発生し、どのくらいの期間継続するのかを、事前に正確に予想することは難しいようであるため、「線状降水帯」が身近に発生したならば、安全な場所に早く避難することが、やはり大切である。

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

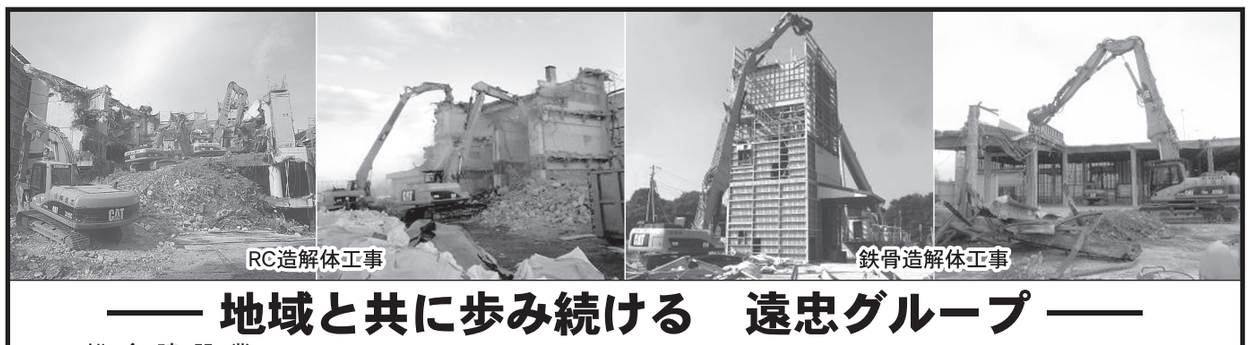
●植　栽
●庭園樹
●造園設計・施工
●土木工事一式
お気軽にご相談下さい
盛岡市指定下水道工事店
株式会社 上の島
本 社 盛岡市下太田下川原136-1 電話658-1100㈹

下水道ならターボ
本管・管口・取付管・大口径の流量
目視・TV調査・洗浄・止水・削孔・管更生工事
不明管・圧送管も見れます！
東北ターボ工業
TEL 019-681-6606
FAX 019-681-6607

さく井・温泉掘削　井水・温泉設備　地中熱　地盤調査
OSANAI 株式会社 長内水源工業
調査・開発工事からメンテナンスまで
本 社 滝沢市鵜飼笹森10－13
TEL(019)684-2661㈹　FAX(019)684-2664
http://www.osanais.co.jp

軽車両から大型まで
東亜レンタカー

新車・中古販売もやってます!!
東亜リース
TOA LEASE CORPORATION
■本社
〒023-0002　岩手県奥州市水沢工業団地1丁目1番地
TEL 0197-24-1161　FAX 0197-24-1169
東亜リース　検索
岩手ブロック
プラント事業部 ☎0197-24-1161　盛岡北営業所 ☎019-694-3070　北上営業所 ☎0197-67-2131　久慈営業所 ☎0194-66-7700　釜石営業所 ☎0193-55-5381
リースセンター ☎0197-23-6222　盛岡営業所 ☎019-637-8200　水沢営業所 ☎0197-23-6222　岩泉営業所 ☎0194-32-3030　大船渡営業所 ☎0192-47-4838
サービスセンター ☎0197-23-5055　花巻営業所 ☎0198-26-2223　千厩営業所 ☎0191-53-3222　宮古営業所 ☎0193-77-3357　高田営業所 ☎0192-47-3572
二戸営業所 ☎0195-27-2255　遠野営業所 ☎0198-62-7273　一関営業所 ☎0191-46-3222　山田営業所 ☎0193-77-4041


RC造解体工事　鉄骨造解体工事
―― 地域と共に歩み続ける　遠忠グループ ――
総合建設業
株式会社 遠忠
八幡平市大更24-8-1-5
TEL 0195－76－2126
FAX 0195－75－0680
URL：www.enchu.com
ISO9001：2008認証企業
《供給する製品、プロセスまたはサービス》
建築物の設計、工事監理及び施工
土木構造物の施工（"7.3設計・開発を除く"）
【営業品目】
土木工事一式　建築工事一式　舗装工事　解体工事業　砂利採取販売　山砕石製造販売　硅石・硅砂製造販売　生コン製造販売　各種自動車整備　宅地建物取引業　産業廃棄物収集運搬業　一般貨物自動車運送業
遠忠石油株式会社
八幡平市大更24-8-1
TEL 0195－75－1343
FAX 0195－75－1624
各種燃料油の販売・配達
配達地区：八幡平市　岩手町　盛岡市　滝沢市
自動車用品等の販売
バイオディーゼルの精製
産業廃棄物中間処理業
タダテックス有限会社
八幡平市大更24-9-1
TEL 0195－70－1611
FAX 0195－70－0680
タダテックスリサイクルセンター
八幡平市田頭1-10-1
TEL・FAX 0195－75－2356
【取扱品目】
●アスファルト廃材　●コンクリート廃材
●コンクリートくず
●木くず（解体材・建設廃材・生木・伐根材）

遠忠馬場鉱山　硅石・硅砂製造販売プラント